

〔飼料作物〕

1 アルファルファ「ナツワカバ」の奨励品種編入

(畜試、草地部)

暖地向きに育成された品種であるが、全国的に多収を示し本県においてもデュピーに比較して多収で永続性に優れている。適応地域は県内全域の標高 300 m までとする。デュピーに比べ生育が速いので 1 番草の刈遅れに注意すること。

(1) 来歴

愛知県農試においてデュピーを主体とする 5 品種を母材として集団選抜法により育成され、昭和 43 年に登録された我国初の品種である。

(2) 特性の概要

草型は直立、花色はほとんど紫で葉色は濃緑色である。

刈取後の再生はきわめて速く、特に盛夏がおう盛で年間平準的な季節生産性を示す。暖地向きとして育成されたが、全国的に多収を示す。本県においても、デュピーに比較して多収で永続性に優れている。

(3) 奨励品種に採用する理由

- 1) デュピーに比較して多収で永続性に優れている。
- 2) 現在ただ一つの奨励品種であるデュピーは採種体制が崩れて、品種にばらつきが大きく、近い将来廃止される見込みである。
- 3) 種子の流通量は十分確保されている。

(4) 適応地域

県内全域で標高 300 m までとする。普及見込み面積 600 ha

(5) 栽培上の留意点

- 1) デュピーに比べ生育が速いので、1 番草の刈遅れに注意すること。
- 2) 他草種との競合に強く、混ばんに適している。

(6) 試験成績概要

2 アルファルファ「サラナック」の奨励品種編入参照

2 アルファルファ「サラナック」の奨励品種編入

(畜試、草地部)

寒地向きの品種であるが本県においてもデュピイに比較して永続性、生産性ともに優れている、県内全地域標高600 mまでが適応地域であるナツワカバより開花が4～5日遅いので開花をまって刈取ること。

(1) 来歴

アメリカ、ニューヨーク州立大学とコーネル大学の協力の下に細菌性いちょう病および冬がれ抵抗性を目的として育成され、昭和33年に品種として決定された。

(2) 特性の概要

草型は直立型で、花色は紫であるが、15%程度の雑色花である。寒地向きの品種であるが、本県においてもデュピイに比較して永続性、生産性共に優れている。耐病性はデュピイとそんな色ない。

(3) 奨励品種に採用する理由

- (1) デュピイに比較して多収で永続性に優れている。
- (2) ナツワカバは平地向きに、サラナックは中標高向きに利用する。
- (3) 種子の流通量は十分確保されている。

(4) 適応地域

県内全地域で標高600 mまでとする。

(5) 栽培上の留意点

ナツワカバより1番草の開花が4～5日遅いので、開花を待って刈る。

(6) 試験成績概要

1) 収量性

表1 生草及びTDN収量

kg/10a

品 種 名	昭和55年	昭和56年	昭和57年	合 計	S 57 年 TDN収量
デュピイ	3678 (100)	4506 (100)	4906 (100)	13090 (100)	667 (100)
ナツワカバ	3456 (110)	5105 (113)	6438 (131)	14999 (115)	869 (130)
サラナック	3519 (112)	5384 (119)	6750 (138)	15653 (120)	866 (130)
ヨーロッパ	—	5596 (124)	5158 (105)	—	676 (101)
ソア	3678 (117)	4593 (102)	5162 (105)	13433 (103)	643 (96)
イルコイズ	3461 (110)	4760 (106)	5446 (111)	13667 (104)	653 (97)
ウィリアムズバーグ	2950 (94)	4584 (102)	5981 (122)	13519 (103)	777 (117)

S55年 年2回、 S56年 3回刈

表2 生草収量の標準対比指数 (Du Puits 対比. %)

品種系統名	宮崎	香川	群馬	北海道 (札幌)	静岡	岐阜	神奈川	茨城
利用1年目								
ナツワカバ	109	101	98	111	111	106	113	130
デュピイ	100	100	100	100	100	100	100	100
利用2年目								
ナツワカバ	106	136	140	125	-	125	147	210
デュピイ	100	100	100	100	-	100	100	100
利用3年目								
ナツワカバ	154	127	136	121	-	108	160	228
デュピイ	100	100	100	100	-	100	100	100
合計								
ナツワカバ	122	115	124	120	-	113	135	184
デュピイ	100	100	100	100	-	100	100	100

(アルファルファ新品種登録に関する成績表 愛知農試)

表3 主要品種の収量比較 (風乾物重. %)

試験場所名	北農試	天北農試	中央農試	愛知農試
試験年数	3	3	4	2
デュピイ	100	100	100	100
サラナック	106	103	115	94

(飼料作物の品種解説：農林水産技術会議事務局)

利用3年目 最終刈後

2) 永続性

表4 冠部被度と株数

項目 \ 品種名	デュピイ	ナツワカバ	サラナック	ヨーロッパ	ソア	イルコイズ	ウィリアムズ バーグ
冠部被度	33	48	43	45	22	22	32
株数 (本/㎡)	53	72	86	73	61	79	74

利用3年目 最終刈後

3) 耐病性

表5-1 耐病性

品種系統名	白絹病	菌核病	そばかす病	茎枯病	輪紋病	いぼ斑点病	斑点病
ナ ッ ツ カ バ	2.3	3.0	2.3	1.4	1.5	1.2	1.7
デ ュ ピ イ	2.9	2.7	2.8	1.5	1.2	1.1	1.6
ウイリアムズバーグ	2.1	1.3	2.8	1.5	1.3	1.1	1.8
モ ア バ	1.8	3.0	3.5	3.3	1.5	1.6	2.3
調 場	香 川 宮 崎 神奈川	茨 城 愛 知 千 葉	宮 崎 神奈川 千 葉	宮 崎 岐 阜 鳥 取 愛 知	茨 城	茨 城	茨 城
査 所	鳥 取 愛 知						

注：各病虫害とも甚を5、無を0とした指数 (愛知農試)

表5-2 耐病性

品 種	病 名 場 所	ソバカス病		茎 枯 病	
		岩手畜試	十勝種苗牧場	岩手畜試	愛知農試
デ ュ ピ イ		1.0	1.0	5.0	1.7
ナ ツ ワ カ バ		1.0	1.3	1.0	3.0
サ ラ ナ ッ ク		2.0	1.3	1.0	1.7

病害罹病性：0無～5を多発

3 アルファルファ「デュピイ」の奨励品種廃止

(畜試草地部)

「デュピイ」を昭和58年度より、奨励品種から削除する。

理 由

採種体制が崩れ品種にばらつきが大きい。